

11月は 児童虐待防止推進月間 ～児童・高齢者・障害者虐待防止キャンペーン～



どうしたらよいか分からない。 そんな時は…

児童虐待に関する相談窓口
子ども家庭支援センターのどか
☎042-439-0081
時(月)～(土)午前9時～午後4時
※(土)は正午～1時を除く

児童虐待に関する相談ダイヤル
児童相談所全国共通ダイヤル
☎189番 時24時間

障害者虐待に関する相談窓口
障害福祉課保
☎042-438-4034
時 平日午前8時30分～午後5時

**高齢者・障害者虐待に関する
夜間・休日の緊急時**
西東京市役所
☎042-464-1311 (代表)

□パネル展示

場所	日時
田無庁舎 2階 展示スペース	11月 6日(月)～10日(金)
フレンドリー 1階 ロビー	13日(月)～18日(土)
保谷庁舎 1階 展示スペース	20日(月)～24日(金)
住吉会館ルピナス 1階 交流スペース	27日(月)～12月1日(金)

高齢者虐待に関する相談窓口

担当地区の地域包括支援センター※
時(月)～(土)午前9時～午後6時

高齢者支援課保 ☎042-438-4029
時 平日午前8時30分～午後5時

センター名	電話番号
栄町地域包括支援センター	042-438-7090
富士町地域包括支援センター	042-451-1203
泉町地域包括支援センター	042-424-1200
田無町地域包括支援センター	042-467-8850
緑町地域包括支援センター	042-461-7081
西原町地域包括支援センター	042-451-8844
向台町地域包括支援センター	042-468-2340
新町地域包括支援センター	042-462-1695

※地域包括支援センターとは
地域で暮らす高齢者の皆さんを、介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から総合的に支えます。いつまでも住み慣れた地域で生活できるように、ぜひ地域包括支援センターをご利用ください。

NISHITOKYO CITY
Handsome Mama
西東京市女性の働き方サポート推進事業
コミュニケーション力UP! **保育付!**
カラーコーディネーターとビジネスマナー

ハンサムMamaプロジェクトでは、理想の働き方の実現にチャレンジする女性を応援します。
この講座では、カラーコーディネーターが対人関係に及ぼす影響について学びながら、仕事をよりスムーズに行うための基礎力を高めていきます。これから就職を目指す方、復職に向けてスキルアップしたい方、ビジネスマナーの基礎知識を身に付けたい方におすすめです。

時 11月30日(木)午前10時～正午
場 谷戸公民館
定 25人
□保育サービス
対・定 6カ月以上4歳未満の子ども・8人
¥ 子ども1人につき300円
※詳細は、専用HPをご覧ください。
ハンサムママ [検索](#)
◆産業振興課保 ☎042-438-4041

「りさいくる市」フリーマーケット出店者募集

時 12月3日(日)午前9時～正午
場 エコプラザ西東京
□出店資格 成人で市内在住の個人・団体(業としている方を除く)
□募集区画数 43区画(1区画約3.5m)
※出店場所の選択は不可
申 11月10日(金)(消印有効)までに、往復はがきで参加者全員の氏名・代表者の住所・年齢・電話番号、出店物(衣類・雑貨など)を下記へ(1世帯1通。申込多数は抽選)
※飲食物・動植物などの販売は不可
◆ごみ減量推進課
〒202-0011 泉町3-12-35
☎042-438-4043

知っていますか? 身近にある農薬や環境化学物資 ～次世代の命と健康を守るために～

農薬の規制は各国で議論されていますが、日本が使用しているもので他国では禁止されているものもあります。農薬の影響による多様な生き物の減少が叫ばれている中、子どもやさらにその先々の世代の健康を守るため、今回の学習会を考えるきっかけにしてみませんか。
時 11月25日(土)午後1時30分～3時30分(1時開場)
場 住吉会館ルピナス
※当日、直接会場へ
定 60人(先着順)
□保育
対・定 6カ月以上の未就学児・4人(申込順)
申 ファクス・Eメールで件名「消費生活展学習会」・住所・氏名・子どもの年齢・電話番号を右記へ

□企画・運営
第17回消費生活展実行委員会
◆協働コミュニティ課保
☎042-438-4046・☎042-438-2021・✉kyoudou@city.nishitokyo.lg.jp

**第17回 消費生活展
出張パネル展示**
日常生活に密着した食・健康・ごみ問題などをテーマに、パネル展示や体験イベントで役立つ知識を分かりやすく紹介します。
時 11月20日(月)～22日(水)午前10時～午後5時(最終日は4時)
場 アスタセンターコート

多摩六都科学館ナビ

全編生解説プラネタリウム 5千年前にタイムスリップ! 縄文人が見た『したのやムラ』の星空

東伏見にある「下野谷遺跡」には、かつてたくさんの方が暮らしていました。大きなドームによみがえる5,000年前の「したのやムラ」で、縄文人が見た星空を眺めます。(約45分間)
時 12月22日(金) (水)・(土)・(日)・(祝)と12月中は午後1時10分と3時50分
そのほか平日は3時50分
定 234人(小学2年生以下は保護者同伴)
¥ 観覧付入館券: 1,000円(4歳～高校生400円)

校生400円)
申 当日、開館時よりインフォメーションで観覧券を販売(先着順)
場・問 多摩六都科学館
☎042-469-6100
11月の展示室開館時間: 午前9時30分～午後5時(入館は4時)
休館日: 月曜日、11月24日(金)

ロクト・サイエンス・コラム④

星を眺めた縄文人?

伝説の生物や勇者の星座が多く登場する秋の夜空は壮大なギリシャ神話の舞台になり、私たちの想像力を刺激します。伝説の天馬「ペガスス座」、英雄「ペルセウス座」のような星座たちは約5,000年前のメソポタミア地方(今のイラン・イラク周辺)に起源を持ち、その後ギリシャ神話と結びついたといわれています。
5,000年前の日本は縄文時代で、本市でも人々が暮らした痕跡が「下野谷遺跡」に残されています。街明かりのない当時は天気が良ければ毎

夜満天の星が見え、縄文人も星を頼りに各地へ移動し交易を広げた可能性もあります。残念ながら縄文人が星を結んだ確実な証拠はありませんが、文様のある土器を作った彼らにも星座をつくる想像力があっただけです。そしてそれが現代の我々に伝わっているのかも…そんな想像もしながら星を眺めると、夜空の楽しみ方が広がると思いませんか。



下野谷遺跡公園HP